

令和3年度各会計決算状況

項目	最終予算額	歳入	歳出	差引残高	
一般会計	186億4,111万円	183億7,300万円	179億775万円	4億6,525万円	
特別会計	介護保険	23億5,858万円	23億4,285万円	22億9,899万円	4,386万円
	国民健康保険	30億2,442万円	29億3,395万円	29億2,229万円	1,166万円
	後期高齢者医療	4億1,060万円	4億792万円	4億759万円	33万円
	農業集落排水	1億6,210万円	1億7,151万円	1億5,893万円	1,258万円
	下水道	9億5,000万円	9億5,685万円	9億4,424万円	1,261万円
	計	69億570万円	68億1,308万円	67億3,204万円	8,104万円
合計	255億4,681万円	251億8,608万円	246億3,979万円	5億4,629万円	

財産の状況

各基金の現金保有額(令和3年度末現在)

基金の名称	金額
財政調整基金	5億5,521万円
減債基金	5億6,471万円
公共施設整備基金	5億8,262万円
土地開発基金	2億4,951万円
人材育成基金	5,787万円
社会福祉振興基金	5,072万円
みどりのまちづくり事業基金	260万円
その他(11基金)	7億662万円
合計	27億6,986万円

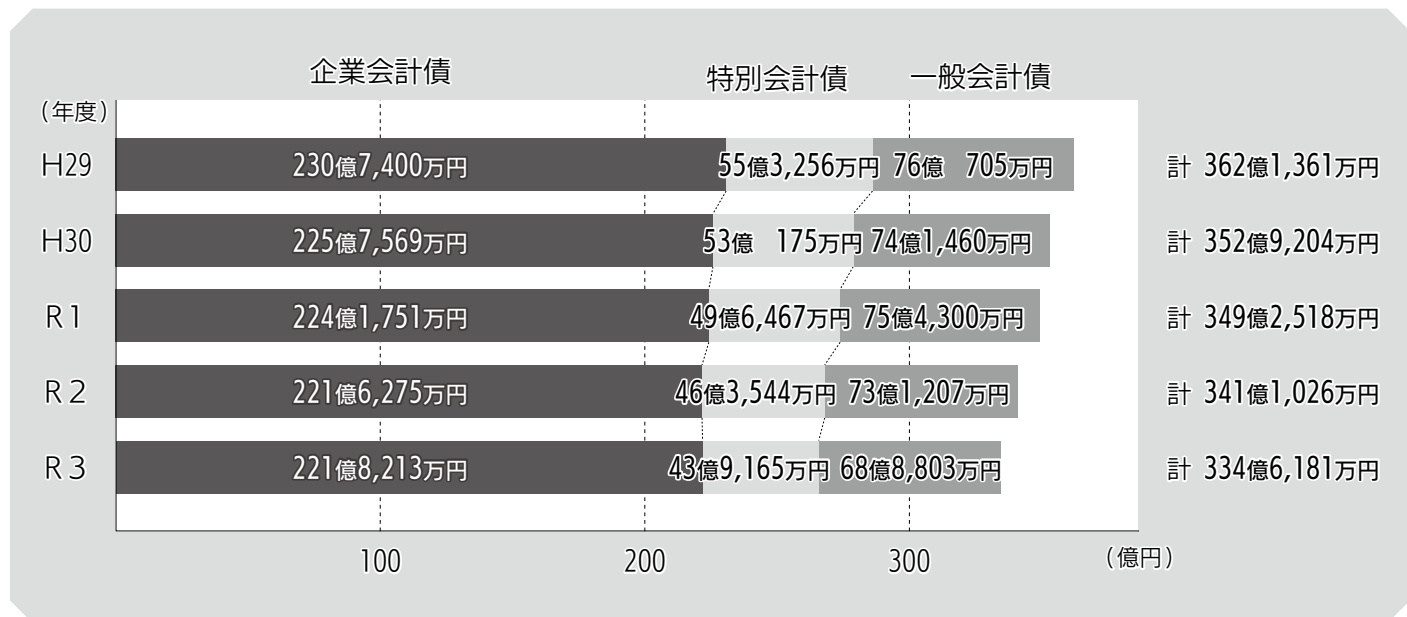
※基金とは一般家庭の預貯金に当たるものです。
このうち一般会計が保有する積立基金は18億8,894万円です。

その他の財産の保有状況(令和3年度末現在)

区分	数量	説明
土地	3,028万6,919㎡	施設用地・山林など
建物	20万8,047㎡	市役所庁舎・学校・体育館などの建物
物権	12万9,537㎡	地上権
有価証券	1,532万円	株券
出資金	2,076万円	関係団体等出資金
債権	1億2,315万円	長期貸付金など
物品	73台	車両

市債の年度末残高の状況

市債の推移

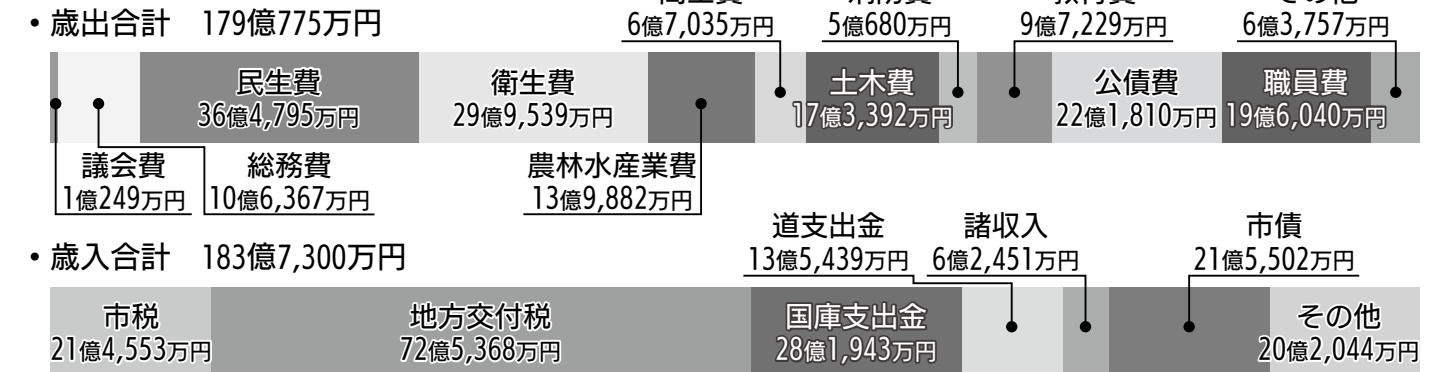


深川市の財政事情

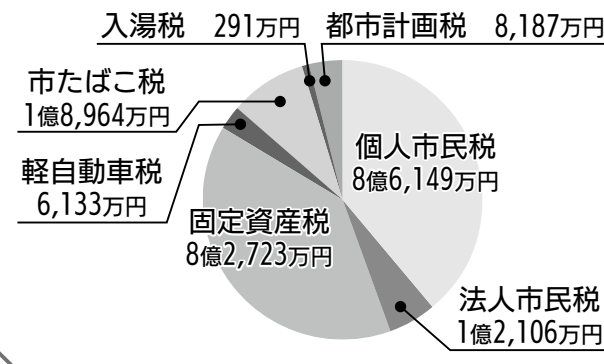
市では、財政の状況を市民のみなさんに理解してもらうため、条例に基づき年に2回財政の状況を公表しています。2回目の今回は、令和3年度決算の概要と令和4年度予算の執行状況などをお知らせします。

令和3年度決算の概要
市の一般会計と5特別会計を合わせた令和3年度決算の歳入決算額は251億8608万円、歳出決算額は246億3979万円、差引残高は5億4629万円です。黒字となり、翌年度に繰り越した事業に充てる2071万円を差し引いた実質的な黒字は4億454万円となりました。令和3年度決算の健全化判断比率等、道内各市と比較した場合、本市の財政状況は依然として厳しい状況にあり、令和4年度においても限られた財源の中で、より一層の効率的な執行と経費の節減に努め、財政の健全性の維持に努めます。

一般会計決算の状況



市税の内訳



市民1人あたりでは

一般会計歳出額	基金残高	市税負担額	市債残額
929,300円	143,700円	111,300円	1,736,500円
議会費 5,300円	土木費 90,000円	総務費 55,200円	消防費 26,300円
民生費 189,300円	教育費 50,500円	衛生費 155,400円	公債費 115,100円
農林水産業費 72,600円	職員費 101,700円	農林水産業費 72,600円	職員費 101,700円
商工費 34,800円	その他 33,100円	商工費 34,800円	その他 33,100円

▲令和4年3月31日現在の人口(19,270人)を基に算出

費用の使い道



- 議会費 議会運営など
- 総務費 市の総務管理など
- 民生費 高齢者対策や児童福祉など
- 衛生費 市民の健康や環境の保全など
- 農林水産業費 農林業の振興や生産基盤整備
- 商工費 商工業や観光の振興
- 土木費 道路や公園、市営住宅などの整備
- 消防費 消防や防災など
- 教育費 小中学校の運営や生涯学習の推進
- 公債費 借入金の返済
- 職員費 市職員の給与など
- その他 災害復旧など

分かりやすい決算書

市の決算を分かりやすく説明した、令和3年度「深川市の今年のしごと一決算編一」を市役所と各支所で閲覧できます。また、希望する方に配布しますので、企画財政課財政係に連絡してください。

市のホームページにも掲載しています（「深川市の今年のしごと」で検索してください）。



予算や決算、
財政運営に関する問合せ先
企画財政課財政係
(☎26-2622)

▼健全化判断比率の対象

会計の区分	比率の名称				
	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
一般会計	○	○	○	○	
特別会計	介護保険 国民健康保険 後期高齢者医療		○	○	○
	水道 市立病院 農業集落排水 下水道	○	○	○	○
一部事務組合・広域連合	消防組合 衛生センター組合 空知教育センター組合 広域水道企業団 廃棄物処理広域連合 学校給食組合			○	○
	公社・第3セクターなど				○

※「○」が比率の対象となる会計。「資金不足比率」は会計ごとで算定する。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律では、自治体は4つの健全化判断比率と公営企業ごとの資金不足比率を公表し、これらの比率が健全化基準を上回った場合、健全化計画の策定が義務付けられています。

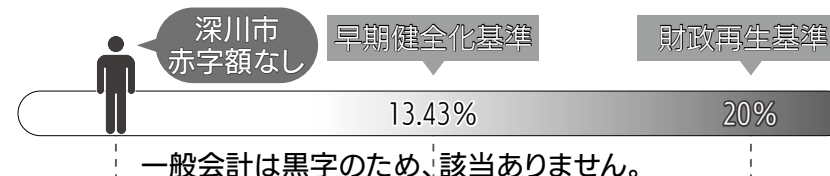
本市の令和3年度決算の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおりいずれも早期健全化基準を下回っています。

◆財政の健全性を示す5つの指標

財政良好 財政悪化

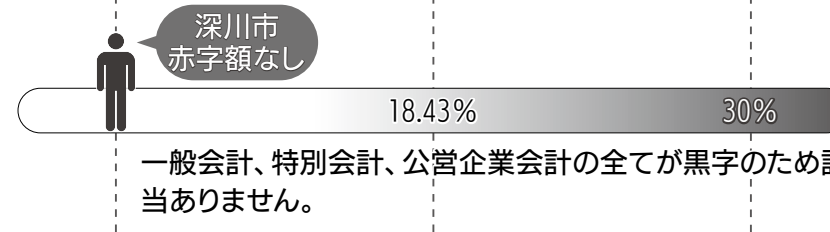
実質赤字比率

一般会計などの赤字額を標準的な一般財源（標準財政規模）で割ったもので、一般会計などの赤字額の割合を示す指標。



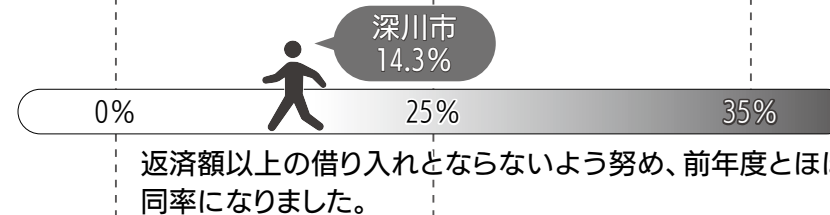
連結実質赤字比率

一般会計、特別会計、公営企業会計の赤字額の合計を標準的な一般財源（標準財政規模）で割ったもので、市全体の赤字額の割合を示す指標。



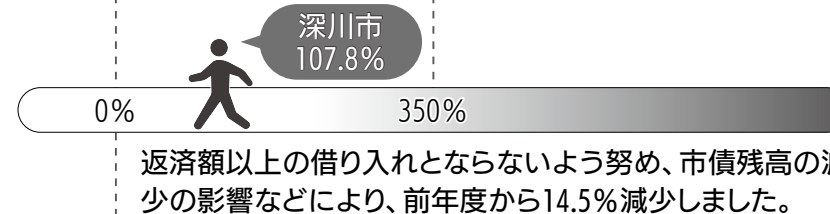
実質公債費比率

自治体の標準的な一般財源（標準財政規模）に対する借入金の返済額などを表す指標。自治体の自由に使えるお金が、借入金の返済にどの程度使われているかを示すもので、割合が高ければ自由に使えるお金が少ないことを示す指標。



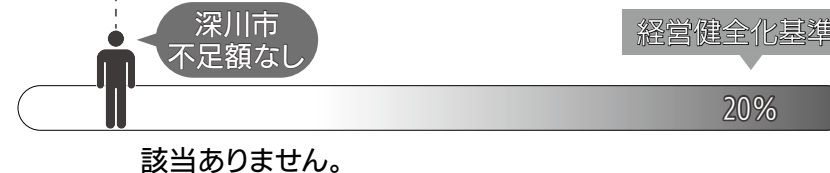
将来負担比率

一般会計、特別会計、公営企業会計に、一部事務組合・広域連合、公社・第3セクターを含め将来負担しなければならない全体像を示す指標。



資金不足比率

市立病院や水道事業などの公営企業に適用する指標。資金不足は、1年以内に支払いを要する費用から手持ちの現金や預金を差し引いたもので、足りない場合に資金が不足することになります。



令和4年度予算の執行状況

令和4年度各会計予算の執行状況は、9月末までの実績で一般会計と特別会計の合計で歳入38.0%、歳出41.3%の執行率となっており、新型コロナワクチン接種や深川市新庁舎の建設、市営住宅・道路・下水道整備などの事業が進められています。

▼令和4年度各会計予算の執行状況(9月30日現在)

項目	予算額	歳入	執行率	歳出	執行率	
一般会計	201億5,643万円	79億4,557万円	39.4%	85億7,969万円	42.6%	
特別会計合計	介護保険	22億9,686万円	10億7,854万円	47.0%	9億6,284万円	41.9%
	国民健康保険	30億3,400万円	10億 839万円	33.2%	11億2,515万円	37.1%
	後期高齢者医療	4億1,978万円	1億1,149万円	26.6%	1億 393万円	24.8%
	農業集落排水	1億9,300万円	2,620万円	13.6%	7,639万円	39.6%
	下水道	9億 300万円	9,765万円	10.8%	2億9,807万円	33.0%
	計	68億4,664万円	23億2,227万円	33.9%	25億6,638万円	37.5%
合計	270億307万円	102億6,784万円	38.0%	111億4,607万円	41.3%	

※予算額には令和3年度からの繰越額を含みます。一時借入金はありません。

健全化判断比率の全道の状況

▲下記の数値は、速報値のため、今後変更となる場合があります。

▼実質公債費比率の高い市町村

1	2	3	4	5	6	6
夕張市	網走市	弟子屈町	広尾町	由仁町	深川市	岩内町
68.3%	16.9%	15.7%	14.7%	14.5%	14.3%	14.3%

※地方債の発行が許可制となる18%以上の市町村は、道内179市町村のうち1市。

▼将来負担比率の高い市町村

1	2	3	4	5
夕張市	北見市	岩内町	士別市	深川市
274.0%	147.5%	111.9%	110.9%	107.8%

※早期健全化基準の350%を超える市町村は、道内179市町村のうち0市。

病院事業会計

令和3年度事業の概要

新型コロナウイルス感染症への各種対応を継続するとともに、収支改善の取り組みなどに努め、入院患者数の確保を図りました。

入院の延べ患者数は前年度比0.1%の減、収益は1億5,493万円の増、外来の延べ患者数は前年度比2.9%の増、収益は1億4,531万円の増となりました。資金不足額は経営改善の継続や新型コロナウイルス感染症関係の補助金で発生しませんでした。

- 病床数 203床(実稼働183床)
- 患者数 入院 延べ 49,915人(一日平均136.8人)
外来 延べ 112,602人(一日平均465.3人)

令和3年度決算の状況

収益的収支で4億7,648万円の純利益が生じ、前年度繰越欠損金95億4,951万円と合算し、90億7,303万円を未処理欠損金として翌年度へ繰り越しました。



収益的収支決算額

収入	52億 100万円
支出	47億2,452万円
差引	4億7,648万円

資本的収支決算額

収入	5億3,441万円
支出	7億6,318万円
差引	△ 2億2,877万円

令和4年度予算の執行状況(8月31日現在)

収益的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	45億 326万円	17億6,250万円	39.1%
支出	49億 738万円	15億3,071万円	31.2%

資本的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	5億2,106万円	3億8,168万円	73.3%
支出	9億3,039万円	2億 508万円	22.0%

※決算額に消費税および地方消費税は含みませんが、執行状況は税込額となっています。

水道事業会計

令和3年度事業の概況

配水管の新設や道路改良事業に伴う移設工事などを施工し、配水管網の整備と給水サービスの向上を図り、安定した水の供給に努めました。

- 給水人口 18,750人(市民全体の97.3%)
- 給水戸数 9,218戸
- 年間総配水量 201万2,159m³(一日平均 5,513m³)



令和3年度決算の状況

収益的収支で5,769万円の純損失が生じ、前年度繰越欠損金4億8,644万円と合算し、5億4,413万円を未処理欠損金として翌年度へ繰り越しました。また、資本的収支の不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしました。

収益的収支決算額

収入	5億7,667万円
支出	6億3,436万円
差引	▲ 5,769万円

資本的収支決算額

収入	4,662万円
支出	9,471万円
差引	▲ 4,809万円

令和4年度予算の執行状況(8月31日現在)

収益的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	6億3,450万円	2億2,085万円	34.8%
支出	7億2,900万円	1億4,794万円	20.3%

資本的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	4,020万円	0万円	0%
支出	9,300万円	329万円	3.5%

用語解説

● 収益的収支

事業の経営に係る収入と支出で、水道事業では、水道料金や一般会計からの繰入金などの収入と、北空知広域水道企業団からの水の購入代金や維持管理費などの支出で構成されています。病院事業では、診療収入や一般会計からの繰入金などの収入と、人件費や材料費、維持管理費などの支出で構成されています。

● 資本的収支

経営基盤強化など、事業の投資に係る収入と支出で、収入は国・道補助金や企業債などで、支出は施設・設備の拡張・改良工事費や企業債の元金償還金などで構成されています。

● 損益勘定留保資金

収益的収支の経費のうち、減価償却費など現金支出を伴わない費用の合計額をいいます。内部留保資金として、別途使うことができません。なお、その発生時期によつて、当年度と過年度に分けられます。